

SagyonoTumori8マック 1.5のヘルプ

●概要

macOS用の作業のつもりになれるアプリケーションです。パート8第八弾

特徴:

- ・ 作業などに従事している気分になれる。
- ・ スクリーンセーバーのように誰かに見られても問題がなく、読書を行える。
- ・ 動作要件が揃えば、64bitアプリとして動作します。

●動作確認済み環境

macOS 12 Monterey(2026.9.14現在) Intelプロセッサで動作します。

●バージョン履歴

1.0・・・ macOS 12 Monterey以降に対応。

1.1・・・ pdf出力機能。

1.2・・・ pdf読書機能。

1.3・・・ FindBarの動作確認とマイしおり機能。

1.4・・・ バグ修正とマイしおりの日時追加と進行工程チェック機能。

1.5・・・ pdf出力機能のfontをfontプレビューWindowのfontと一致させた。

●ご利用の前に

1 著作者はアーカイブの改変を認められません。ご使用に伴ういかなる現象の発生につき全責任は使用者にあります。全責任を追うことのできない使用者はこのアプリケーションを削除してください。それらに伴うリスク、コスト等は一切使用者が負います。著作者は一切クレームを受け付けられません。

2 有料情報は一切含まれていませんので、有料情報が必要な方は他のアプリ

ケーションをご利用ください。

3 日本国憲法法律の根拠は下記にてご確認ください。 <http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html> <http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi>

●インストール方法

アプリケーションフォルダに、SagyonoTumori8.appをコピーして下さい。

読書ファイル.txtはテキストファイルで、適当なフォルダを作って配置してください。

おススメはDocumentフォルダを作り、その下にtextfilesフォルダを作ります。rtf読書ファイルの場合はrtffilesフォルダを作ります。

●使い方

アプリケーションをFinderからマウス等で起動します。アプリ

起動後、読込ボタンで読書ファイル.txtを読み込んで読書できます。

読書ファイル.txtはテキストファイルで、ファイルはテキスト形式、拡張子txt、エンコーディングUTF8です。

pdf出力機能はファイルメニューsave as PDF…から使えるようにしてあります。TextViewの内容がPDF出力されます。

Pdf読書機能はOpenメニューやブラウザから使えるようにしてあります。pdf windowが開かれてマウスの右クリックでメニューを出してActual SizeやZoom inなどを利用して読書します。

しおりボタンで表示されるマイしおりパネルにはしおりを登録できます。日時ボタンを押すとしおりは年月日日時入りとなります。

入力の練習はその下の2つの入力欄を利用ください。マイしおりはtextviewにドラッグして利用します。マイしおりを表示するにはtextviewのFindバーを利用してください。EditメニューのFindで表示されます。

進行工程機能は、作業の進行をチェックするものです。メモ欄もあって、「進行の確認は事前連絡を必要とする」などのメモも入力できます。

Pdf出力は進行工程からも行えますが、そのフォントはフォントWindowと一致させました。

0 前提知識

かんたん計算シリーズは5つのWindows8で動作する積算の計

算アプリケーションから構成されますが、それとは別に存在する公共土木工事積算の計算のOSX 版がこのアプリケーションです。Windows8とデータや操作の互換性はありませんが、かんたん公共土木工事積算マックとの互換性があり、手元にWindows8 パソコンが利用できないがMacが利用できる場合に、活用されることを目的としています。

EXCEL 2011あるいはNumbers3.1あるいはNumbers2.1で印刷するための CSV出力機能を備えています。

AppleScript対応していますので自動積算の計算が可能となっています。設計書 ファイルを入れ替え、積算結果のCSVを別フォルダに移す処理を作成すれば自動積算の計算による無人化が可能です。

●かんたん公共土木工事積算マックとの違い

- ・ EXCEL 2011あるいはNumbers3.1あるいはNumbers2.1がインストールされていない場合を考慮し、A4サイズPDFへの簡易金抜き印刷機能を備える。

- ・ 設計書エディタにソート列が加わり、他の列をソート用にする必要がなくなった。(その結果、設計書データのみ互換性がなくなりました) ・ マルチウインドウに対応したので、設計書のいろんな部分をウインドウを開いてスクロールして見ながら、設計書エディタを操作できる。(マルチドキュメントではありません) ・ AppleScriptによる自動積算の計算が可能。請負工事費はAppleScriptでは取得できない。安定性の向上のためにも、ウインドウは1、2個程度にしておいてください。

1 起動してみる

さあ、ダブルクリックで起動してみましょう！

読書を始めるためには読み込みボタンを押して読書ファイルを読み込んでください。

更新ボタンは読書ファイルに追記をしてrtfファイルとして保存するものです。

次に見てるだけの画面が表示されます。実際にスクリーンセーバーのような動作は行われません。

何かして次の画面に進むことはできません。

読込ボタンは拡張子がtxtというテキストファイルを読み込みます。rtfにも対応しています。読込ボタンではpdfを開くことはできません。QuickLookやmove to trash用です。

読書ファイルを読み込む時にマウスの右クリックから表示されるメニューにてQuickLookで内容確認し、「あれえ、こんな内容のファイルあったかなあ？」と記憶にないファイルがあったら同じくマウスの右クリックでmove to trashを選択してゴミ箱に捨ててください。おそらくセキュリティホールを突いたファイルの形をしたマルウェアの断片でしょう。

PDFを開いて読書する場合は、ファイルメニューOpen…からPDFWindowを開いてお願いします。

2 付属アプリについて

日本オラクル社のjava runtimeをダウンロードしてインストールしている方は付属アプリもお使いいただけます。下記の場所からだとmacOS用がダウンロードできるようです。

<https://www.oracle.com/java/technologies/downloads/>

インストールが終わり、ターミナルを起動し、アーカイブを展開したフォルダの中で

```
bash ./app.sh
```

と入力して付属アプリが起動します。

使い方は実はあまり詳しくは書けません。遠回しな言い方だとバージョンアップがこのようなアプリの添付を必要としたのです。

ファイルを開くというボタンを押すと、読書ファイル.txtを読み込み、読書が可能です。画像登録ボタンでpng、jpg、jpeg形式の広告画像をファイル登録し、クリップボード表示でその広告画像を表示できます。ダイアログを出すボタン2で旅行業や旅館業向けにキャンセルが可能にしています。BrowserボタンでWebブラウザが起動します。

3 フリーソフトについての説明

旅行業や旅館業が投資（設備投資、広告宣伝、集客など）を行う。

利用者の元にも投資が行き渡る。

利用者が作者を発生させる。

作者がその投資をもとにベクターを通じ流通を発生させる。

利用者はその投資を利用してフリーソフトの代金（お金と時間など）を実質0円にし、流通実費（ダウンロードなど）を支払いフリーソフトを利用する。

人が動く。物は動きませんので何も届きません。配達されません。

旅行業や旅館業向けにキャンセルが可能にしております。

4 その他

マックのディスプレイを覗き込んだ方に知られてしまう可能性がありますから、必要がなければアプリケーションは終了し、必要となった時点でアプリケーションを起動することをお勧めいたします。

インターネット等の手段でTポイントを取得する処理はやっておりませんので、サイバー被害には一切無関係なアプリケーションであることを明記しております。ですのでリバースエンジニアリング、ハッキング、サイバー攻撃は厳禁とします。意図しないTポイントの増加減少減少に当アプリケーションは一切関係ないので免責とさせていただきます。

●その他

著作権はDaiS2Kが保有します。このソフトウェアの使用によるいかなる損失、損害も著作者は責任は終えません。違法行為に使用した瞬間以降をもって使用ライセンスを失います。使用ライセンスとはアプリケーションを入手し、使用および管理および配置する権利と行為を意味します。その他のライセンスについても同様に失います。サポートに関しては、次の場所でおこなっております。返信はすべての問合せに対して行えない場合があることを申し添えておきます。

作者メールアドレス fyhbi630@yahoo.co.jp

●お知らせ

私のベクター発表作品に関してはもうバージョンアップは行われず、それをもってアーカイブの改変なしに数量自由の再配布を皆様に対して認めることとなりました。実費も徴収して構いません。32bit macOSで動作する32bitアプリのことです。全バージョンを一度に公開しても構いません。例を挙げると、<https://www.oldversion.jp>のようなサイトを作成しても構いません。

再配布を行いたい場合は再配布を行うURLなどを上記メールアドレスにご通知ください。通知だけで再配布を行い実費を徴収することが可能です。

再配布の権利は再配布ができる間発生するものと解釈させていただきます。

●謝辞(Thanks)

Finderに感謝します

Xcodeに感謝します それらの登録商標はApple,Inc.に帰属します
Cyberduckに感謝します それらの登録商標は著作者に帰属します

日本オラクル社の登録商標javaは、Oracle,Incに帰属します。

バードパトロールに感謝します

マイクロソフトcopilotに感謝します

オープンAI chatgptに感謝します

皆様におかれましてはひったくりにご注意ください。従来作品のソースコード一式ひったくりにあいまして全て紛失してしま

いまして、この文章を持ってユーザサポートは即日終了し免責とさせていただきます。

©DaiS2K 2018-2026